

東京都  
万引きに関する有識者研究会  
平成29年1月16日

# 万引きをする高齢者の社会統合と コミュニティ形成



立教大学コミュニティ福祉学部  
教授 小長井 賀與

# 本日の報告内容

- 1 高齢者が生きてきた時代背景とそのメンタリティー
  - (1) 高度経済成長期における人格形成
  - (2) 日本社会を巡る状況の変化
  
- 2 「万引高齢者」の抱える問題特性
  - (1) 経済低成長・停滞期における高齢者犯罪の趨勢
  - (2) 高齢者同輩より一層不遇な「万引高齢者」の大きな相対的剥奪感
  - (3) 社会への不満・不信感と危険回避・異議申立行動としての犯罪
  
- 3 「万引高齢者」の再犯抑止と再統合の方策
  - (1) 「期待値」の引き下げ = 時代状況に見合う生き方・マインドセット
  - (2) 相互承認・扶助コミュニティにおける自らの役割と居場所
  
- 4 包摂的なコミュニティ形成
  - (1) 町づくり施策パッケージの中での「万引高齢者」支援
  - (2) 社会的排除者をコミュニティのケアシステムへ繋ぐ仕組み
  - (3) 連帯経済による社会的排除者・孤立者の社会統合の試み
  
- 5 まとめ：考察と提言

# 1 高齢者が生きた時代背景と そのメンタリティー

## (1) 高度経済成長期における人格形成

- 65歳以上の高齢者はS25年以前に生まれ、高度経済成長期に人格形成し、バブル期（S 61年末～H3年初）には壮年であった。
- 自己効力感と自分の将来への期待、それを支える社会に対する楽観から、自分が成就できることへの高い「期待値」を形成し、今も引きずっている。

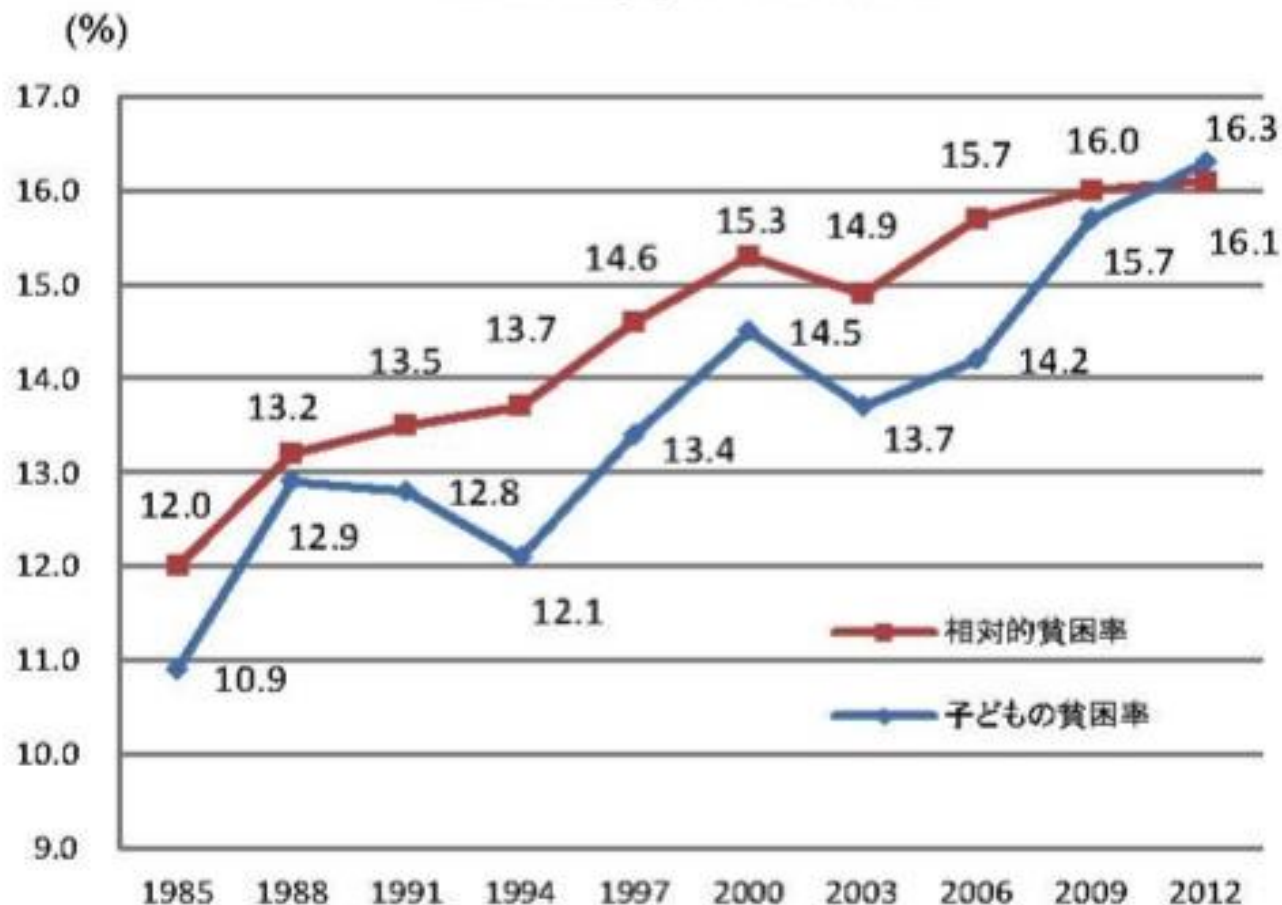
## (2) 時代を巡る状況の変化

- しかし、バブル崩壊以後（H3年以降）日本の経済は停滞し、グローバル化が進展・深化した。その結果、制約のある中で経済競争力を維持するために雇用は不安定化され、若年層と高齢者層を中心に経済格差が広がっている。
- 併行して、社会関係を巡る状況も変化した。
  - 家族機能の一層の縮小化
  - 単身世帯の増加
  - コミュニケーション能力への過大な依存
    - （＝関係性への制度的保障が減じ、自分で開拓・維持するしかない時代状況、しかし、大半の高齢者には備えがない。）
  - ボランティア団体・NPOの隆盛、「絆」原理主義？
    - （＝公助の不足は、自助・互助・共助で補う。）



子どもの貧困  
子どもの貧困率の推移  
母子父子世帯と単身世帯  
貧困率データ集  
社会的世帯による貧困率  
社会文脈リスト(レポート)  
これに使われた調査データ  
プロフィール  
お問い合わせ

## 相対的貧困率の推移



出所: 厚生労働省(2011, 2014)「平成22年、平成25年 国民生活基礎調査 結果の概要」

[「日本の貧困」へ](#)

貧困統計について詳しく知りたい方は、

ク:

の貧困率ZONE

12.0

5年間の相対的貧困率の動  
データ

の貧困率に注目す  
は

「コイノチンクタイ」上  
112「日本新聞」  
ました。

新聞記事はこちら

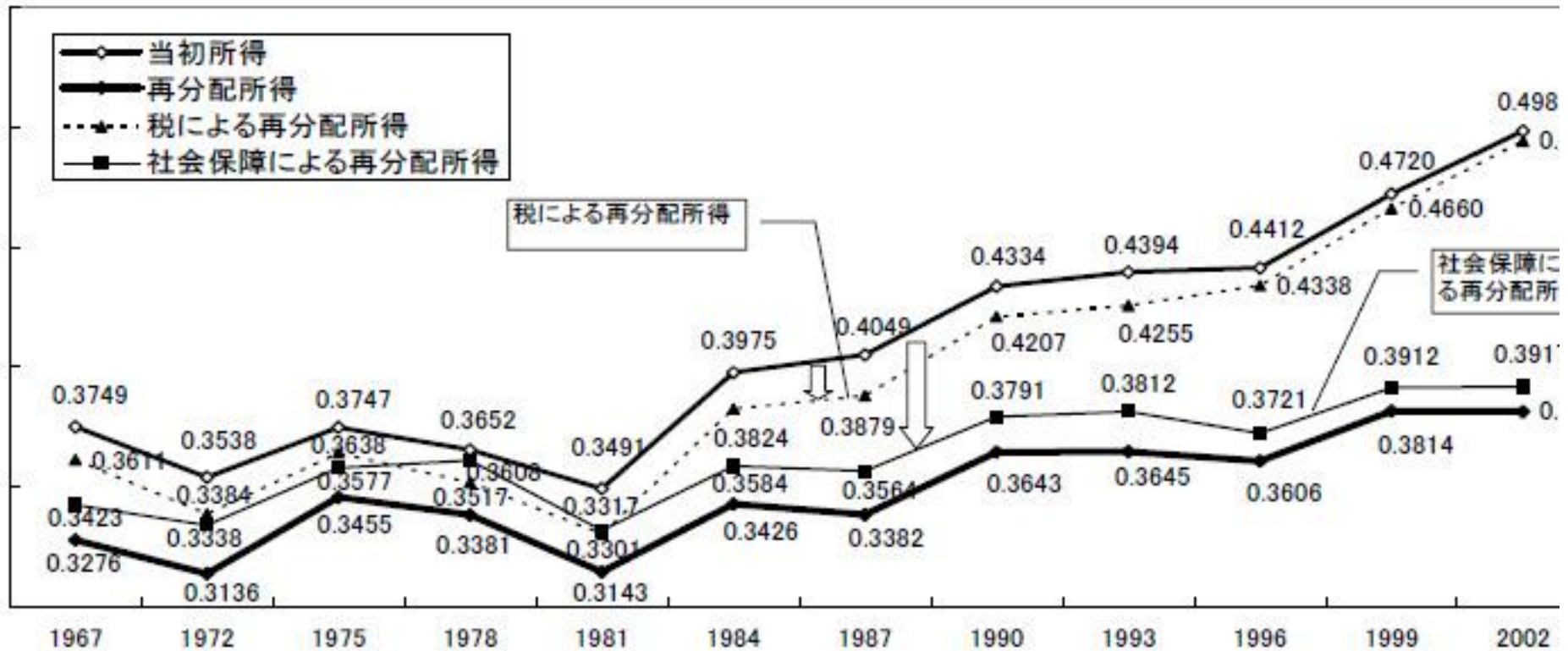
「貧困率データ

検索等」など、行政データ  
については国立社会保  
・人口統計研究所でも  
ご覧ください。こちらに  
記事の抜粋

「2014年の統計データ」に  
相対的貧困率も含まれて  
います。また、貧困率  
の推移についても、こ  
ちらの統計の抜粋  
をご覧ください。

本ページは責任者  
が作成し、第三者が  
利用してはなりません。

図表第 31 所得のジニ係数の推移



注)「当初所得」: 雇用者所得、事業所得、農耕所得、畜産所得、財産所得、家内労働所得及び雑収入並びに私的給付(仕送り、企業年金、退職金、生命保険金等の合計額)の合計額。公的年金等社会保障給付金は含まれていない

「税による再分配所得」: 当初所得から税金(所得税、住民税、固定資産税(事業上のものを除く)および自動車税・軽自動車税(事業上のものを除く)を引いたもの

「社会保障による再分配所得」: 当初所得に医療費、社会保障給付金を加え、社会保険料を引いたもの

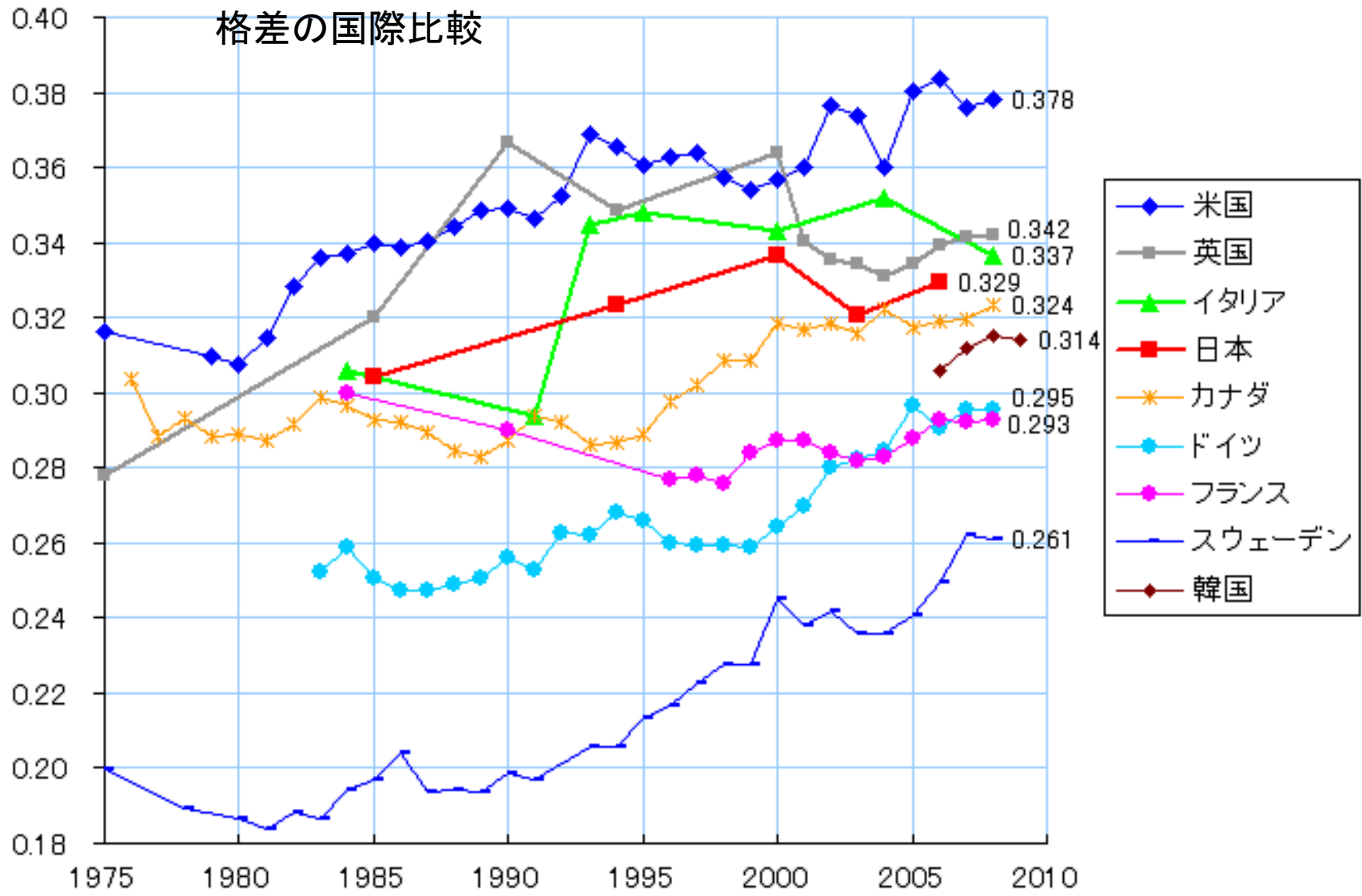
「再分配所得」: 社会保障による再分配所得から税金を引いたもの  
なお、所得は世帯単位のもの

出典: 厚生労働省「所得再分配調査」



# 格差の国際比較

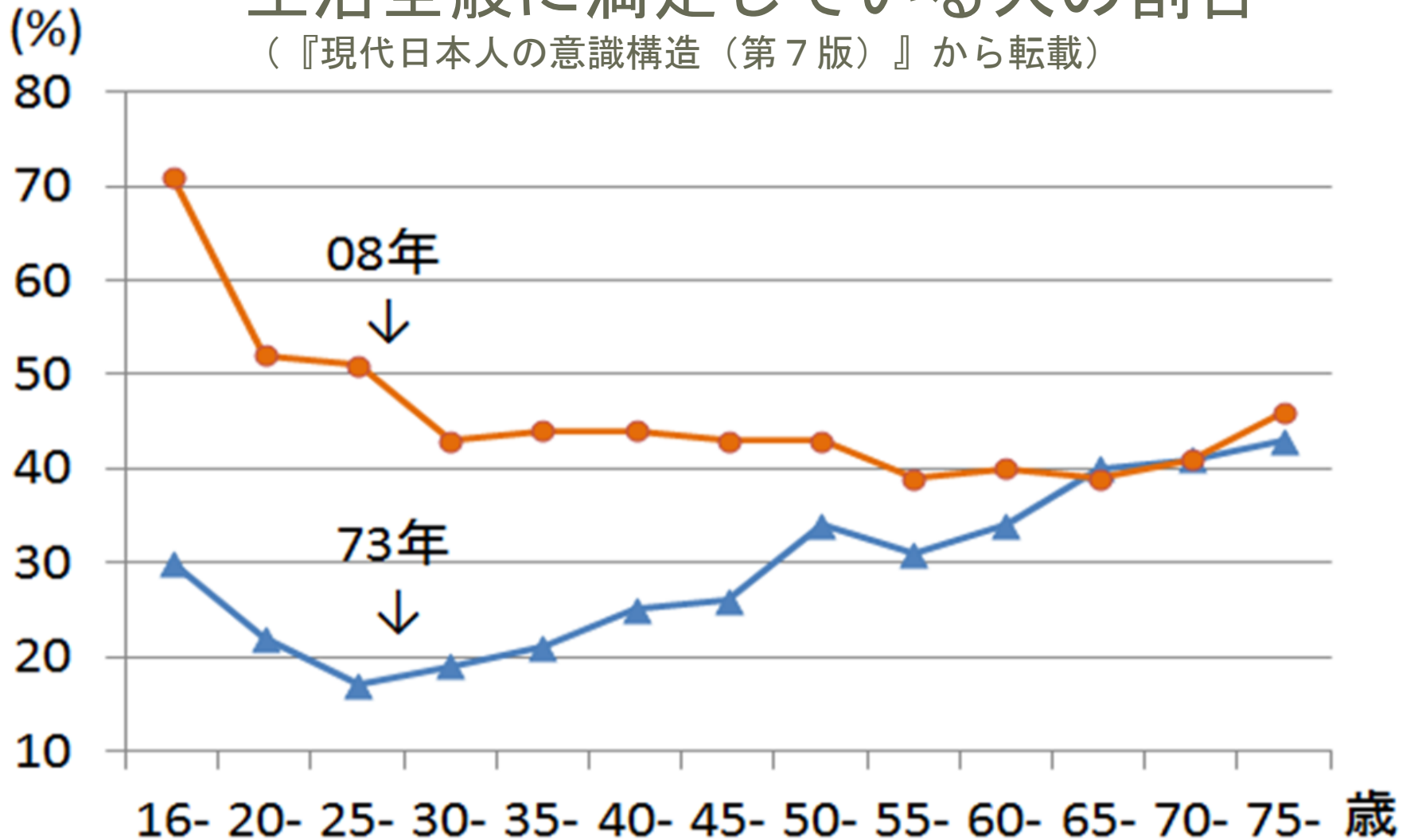
ジニ係数（家計の可処分所得の格差）



<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/4660.html>  
原資料：OECD2011統計より

# 生活全般に満足している人の割合

(『現代日本人の意識構造 (第7版)』から転載)



転載：土井隆義「非行少年をめぐる視線の構図」、立教大学での少年司法に関するシンポジウム、2016年10月22日



## (前頁の続き)

- 従って、経済的な「期待値」が満たされる高齢者はごく一部である。
- さらに、関係性や地域参加の格差も広がった。
- 高齢者の分断化。高齢者の大半で人生に対する不全感の拡大。

参考：土井隆義「リスク回避する若層、危険回避する高齢層」、  
*犯罪社会学研究*No.41、2016

NHK放送文化研究所編「現在日本人の意識構造」（第八版）  
「貧困統計ホームページ」<https://www.hinkonstat.net/>貧困率の長期的動向-国民生活基礎調査を用いて/

## 2 「万引高齢者」が抱える問題特性

(1) 経済低成長・停滞期における高齢者犯罪の趨勢  
全般に犯罪率が著しく減少する中で、高齢者による犯罪だけは高止まり・微増傾向にある。

出所：平28年版犯罪白書

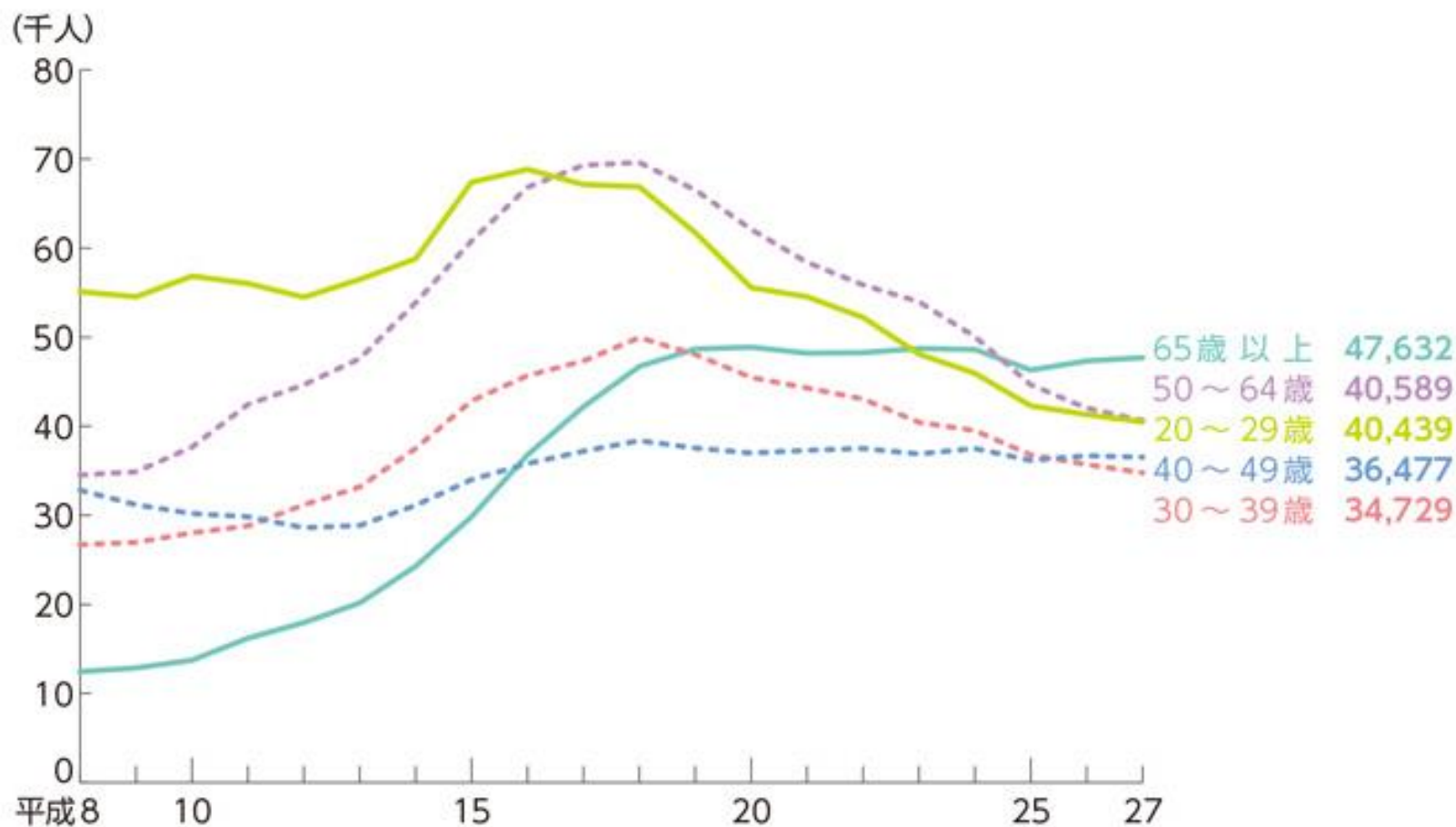
(2) 高齢者同輩より「万引高齢者」は一層不遇で、  
の大きな相対的剥奪感をもつ。

本研究会の調査で、「万引高齢者」は高齢者一般よりも経済的にも関係性においても恵まれないことが確認された。

4-7-1-1 図

刑法犯 検挙人員の推移 (年齢層別)

(平成8年～27年)



- 注
- 1 警察庁の統計及び警察庁交通局の資料による。
  - 2 犯行時の年齢による。
  - 3 平成14年から26年は、危険運転致死傷を含む。

平成28年度版犯罪白書より

### (3) 社会への不満・不信感と危険回避、 異議申し立て行動としての犯罪

- 社会経済的状況、関係性において不遇で社会に適応していないという点で、孤立・孤独な者と同じように見えるが、犯罪に至る機序が異なると思える。
- 直接的に統計的検証はされていないが、臨床経験・(限定的ではあるが) 質的調査から推測する。
- 犯行時に所持金がないわけではなく、使いたくない・余裕がないのが本音、孤独感もある。  
(出所：警視庁「万引に関する調査報告書」、2011)

## (前頁からの続き)

- 規範に対する不服従、社会への不信感があり、公的サービスへのアクセスが視野にない。

(参考：報告者のヒヤリング調査で、複数の更生した無年金者が「頑張るだけ頑張り、後は国の世話になる。憲法が守ってくれる。」と語った。また、全員に近い更生者には刑事司法に対する信頼がある。)

- つまり、単に貧しいから万引をするわけではなく、自分の現状への不全感や将来への不安感、自分を守ってくれない社会に対する不信感が犯行の背景にある。
- 社会への不信感を根拠にもつ「危険回避」の行動が、高年齢者犯罪の実態ではないだろうか (土井隆義、前掲書)。関係性に恵まれなくても、コミュニティや社会に対する信頼感があれば「孤独」に耐え、「関係性」を求めて社会に参加できる。

### 3 「万引高齢者」の再犯抑止と再統合の方策

#### (1) 期待値の適正水準への引き下げ

- 一 成熟社会・低成長の時代状況に見合う生き方やマインドセットへとリセットしてもらう支援

#### (2) 相互承認・相互扶助コミュニティにおける自らの役割と居場所の確保

- 一 役割の喪失や社会的承認の欠如は人間の尊厳を損なう。
- 一 同年齢集団での活動（Powerの自覚）  
若者との交流（「期待値」の中和）  
異類型の弱者との交流（役割の認識）



# ➤ Good Lives Model 善い人生のモデル

by Tony Ward

- 自分なりのPrimary Goods 基本財を創っていくのが人生
- Primary Goods
  - 一 健康な生活、知識、遊びにおける卓越性、  
仕事における卓越性（達成経験）、機関としての  
卓越性（自律性と自己決定）、心の平穩、友情  
（＝親密な関係）、コミュニティ（他者との程良い  
関係性）、精神性、幸せ、創造性
- すべての人生は自らの価値の実現を志向している。何らかの制約があって基本財を実現できていない場合に犯罪を含む問題が生ずる。他者に危害を及ぼさない方法で人生の価値を実現するために必要な知識、技能、機会、資源を提供するのが犯罪者処遇である。

## 4 包摂的なコミュニティ形成

### (1) 町づくり施策パッケージの中で「万引高齢者」支援

日本では「自己責任で社会から排除された者」への視線は厳しい。当事者も生き方への介入を嫌う。そこで、共生的・相互扶助的コミュニティ形成の中で「万引高齢者」も支援する。コミュニティ機能を高めるための施策の一環として、触法者を支援をする。

犯罪を含め、紛争をコミュニティの規範の緩みと見て、修復する。 Cf. 修復的司法 Restorative Justice

Community Interests

We are all members of the community.

Working together, living together.

## ➤ 『定常型社会』の勧め

広井良典「定常型社会、新しい『豊かさ』の構想」、2003  
「コミュニティを問い直す」、2009

平川克美「『定常化経済社会』では皆で不満を分かち合おう、『三方一両損』で解決」、日経新聞夕刊、2016.12.3

「定常型社会」とは、右肩上がりの成長、特に経済成長を絶対的な目標としなくとも十分な豊かさが実現されていく社会。

『三方一両損』とは、皆で損を少しづつ分かち合うことで問題解決すること

## (2) 社会的排除者をコミュニティの ケアシステムに繋ぐ仕組み

- 1) オランダ・ロッテルダムの Safety House
  - 2) イギリス・少年保護制度の Youth Offending Team, YOT
- 1) はすべての年齢層、2) は18歳以下の少年が対象
  - とともに、問題を起こして刑事司法に繋がった者を地域の福祉・ケアシステムに繋ぐ諸機関連携組織。入口支援と出口支援。
  - 単なる連絡組織でなく、自治体内に（現実の）事務所とデータベースを共有し、当事者の抱える問題の緩和・解決と社会への統合のために、システム的な協働をする。
  - 警察・検察・保護観察・福祉・教育・医療・住宅・労働の専門家の協働によるアセスメントと包括的な支援・ケアの実施

### (3) 連帯経済による社会的排除者・孤立者の社会統合の試み

- 「連帯経済」とは、社会的連帯を基盤として行われる経済活動。人々が「満たされた生活」、「個々の市民とコミュニティの福利」の実現のために連帯し、経済活動を中心に、政治活動、文化活動を行う。
- 市民のための市民による活動であり、市民とコミュニティの福利を維持・発展させ、共生的・包摂的社会建設を目指す。
- フランスでの法的形態は、協同組合、アソシエーション（＝NPO）、財団、共済組合

## ➤ 共有されている目的

- 人間中心であること
- 共生
- 連帯
- 調和の追求：社会的平等、文化的追求、個人間の経済的平等の追求 → 平和
- 解放：自ら活動する能力、とりわけ経済的圧力を受けないこと、個人は自信と責任をもち、行動する能力をもつこと
- 抵抗：経済的な抑圧・政治的な抑圧・産業資本家や金融資本家・全体主義政治体制への抵抗、社会的・経済的・政治的な組織化

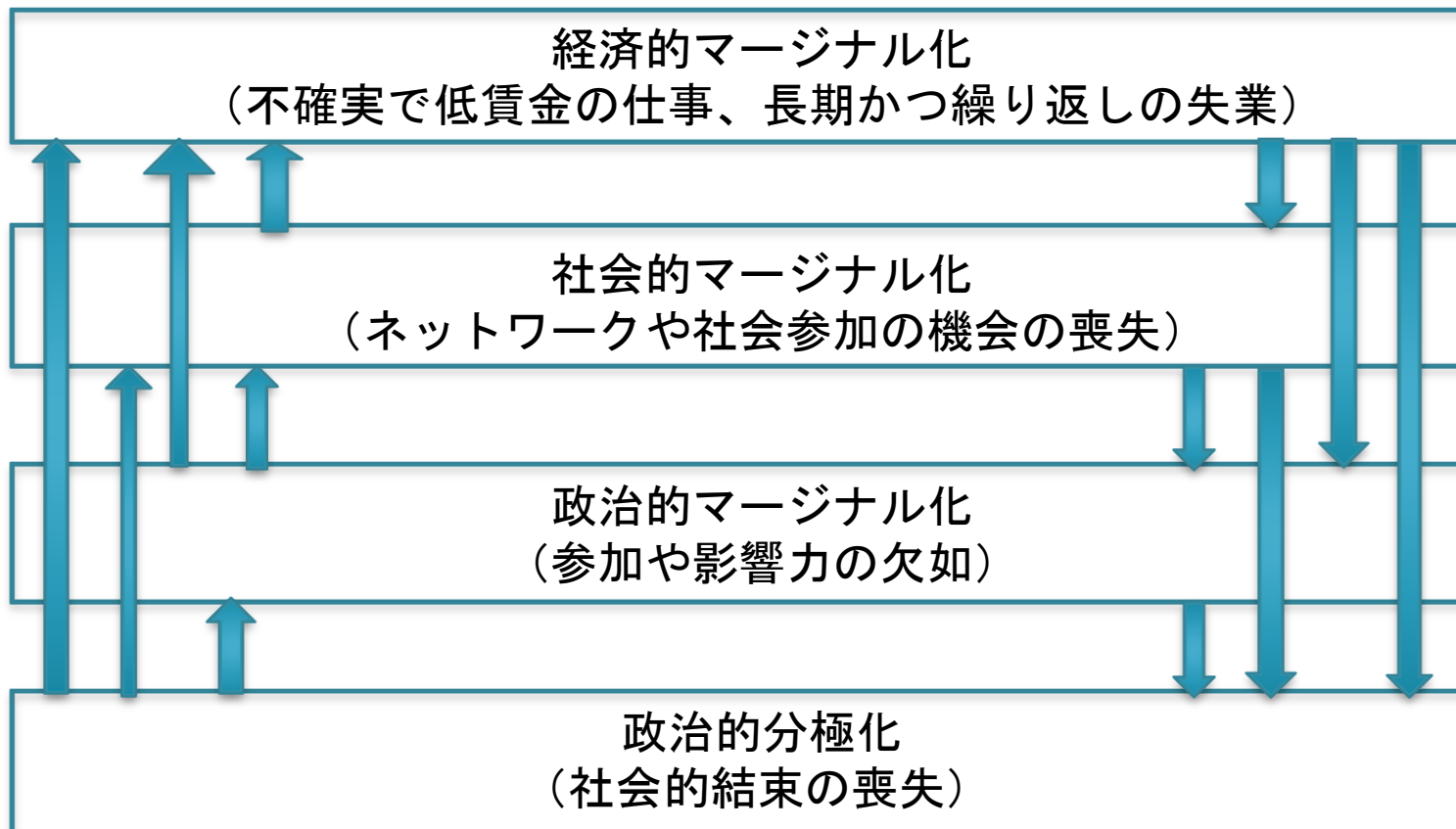
(ティエリ・ジャンテ「フランスの社会的経済」、2009, pp9-10)



(参考)

# 社会的排除のプロセス

(原題：経済的マージナル化、社会的な不統合、政治的分極化のあいだの関係)



出所：アジット・バラ、他『グローバル化と社会的排除』、昭和堂、2005、p30

(参考)

## 「連帯経済」発展の時代的背景

- 1890年代からのグローバリゼーションや少子高齢化  
→ 一群の人々の雇用が困難なものとなり、社会から排除された。
- 労働市場、家族、コミュニティ等の構造変化によって、失業世帯の増大、所得格差、ホームレスの増加などの社会問題が生じた。社会的問題は特定の地域に集中して集積する傾向があり、社会的サービスの水準もそれをもっとも必要とする人々の地域で質・量とも最低のレベルにある。
- 福祉国家のあり方（＝税制と社会保険により、活動人口から非活動人口に所得を移転する）だけでは問題を解決できない。
- → 連体経済によって、資本主義とは異なる経済活動を行い、市民が連帯して自らの生活を守る。市民社会のイニシアティブによる経済の民主化。

# ➤ 日本の連帯経済、ケアの第6次産業

## 日本における精力的な試み

農業組合法人「協働学舎新得農場」

NPO法人「小金井 ハーモニー協会」

埼玉県NPO協働推進事業「むさしうらわ このまちで暮らす会」

NPO法人「八王子市民活動協議会」

株式会社「報徳農場」（神奈川県足柄の農業連携事業）など



## 事例 1 : パリのNPO

# “Tout Autre Chose, トウトートル ジョーズ”

- NPO “Tout Autre Chose”は、パリ 9 区の中心部に友愛の場を創りたいという人々の思いから、2007年に設立された。
- “Tout Autre Chose”の事業目的は親密さと傾聴の社会的輪を発展させ、生きづらさを抱える人々を支援すること

<http://www.toutautrechose.fr/>

2017.01.15アクセス





# 事業①：レストランの経営



- ランチとディナーのサービス；前菜、主菜、デザートのコース。季節と天候とシェフの着想に即して、毎朝調理。おしゃれな家庭料理。
- スタッフは近隣住民のボランティア。社会奉仕命令対象者も、清掃等の無償労働。ただし、元犯罪者数は抑制。
- 客は、当団体で食事や会合をもつことで事業を支援したいと望む近隣住民とそのグループ。元犯罪者がスタッフにいることは黙認している。
- 客用テーブルは、団体の収益と近隣コミュニティの連帯に資するツール。

# TOUT AUTRE CHOSE

LIEN SOCIAL - ACCUEIL ET ACCOMPAGNEMENT DE PUBLICS FRAGILISES - TABLE D'HOTES



The association

The hosts

Activities

Participate

Contact

[Home](#) > [Activities](#)



Comments: [reading and writing](#)  
[Testimonials](#)

## Latest News

01/07/2016

### Events to come

The schedule of workshops and events for the month of January is available [here](#)

01/04/2016

### Wednesday Walks

The program [Wednesday of walks](#) for the month of January 2016 is available.

10/30/2015

### Kitchen workshop

New: a [cooking workshop](#), participatory and tasting, is held every other Saturday from November 7 ...

09/29/2015

### Information letter

The first edition of [the Newsletter](#) of All Something else is available!

[previous news](#) ...

## Our links

Mayor 9th  
Mayor of Paris  
Shared solidarity  
The Little Brothers  
Valeyre Centre  
New paths

## In the press...

France 2  
Ninth Daily  
A nous Paris  
The candy  
Télérama  
Pariscope

## Activities



### The workshops in a few words

All Something else has since its creation activities around the learning of reading and writing, computer, cooking .... The administrative support and ...

[Read more...](#)



### Workshops services

Assistance, information, a tour of the workshops ... Near services, listening and assistance in everyday life.

[Read more...](#)



### Culture and leisure Workshops

A Tout Autre Chose, leisure and discovery go hand in many workshops, the days of the week.

[Read more...](#)



### Educational workshops

Throughout the week, workshops welcome those who want to discover, learn, share ....

[Read more...](#)



## 事業②：連帯とコミュニティ形成活動

レストランの収益・補助金・寄付で事業展開

住民は受益者・支援者（元犯罪者も識字教育や文化活動等で支援者に）

- ▶ 教育的ワークショップ（＝リテラシー習得支援）
  - 識字教育、コミュニケーションスキル、コンピューター、英会話
  
- ▶ サービスワークショップ（＝日常生活支援）
  - 行政・法律事項、金銭管理、融資、インターネットアクセス
  - 高齢者家庭の訪問
  - 傾聴とコーチング（＝能力開発）
  - 連帯促進活動（＝地域住民の孤立防止セッション12回のワーク）
  
- ▶ 文化と娯楽のためのワークショップ（＝楽しみ創造）
  - 裁縫、パリ市内名所散策、ジムでの運動・身体表現、ゲームと話し合い、お祭りイベント

## 事例 2 : フランスのNPO、 “Jardins de Cocagne, ジャルダン・ド・コカーニュ”

事業目的・社会的機能 :

- フランス全土に130の農場を展開するソーシャルファーム
- ビオ（環境保護、無農薬、地産地消の野菜）の普及・実践
- 労働市場に参加できない者（＝就労スキルのない若者、障害者、移民、ホームレス、シングルマザー、元薬物依存者、元犯罪者など）の就労・職業訓練機会の提供
- 対象者は種々の生きづらさを抱えている者の混成 → 痛みの相互理解・扶助
- 地域住民は法人の会員として、定期的にビオ野菜のバスケットを購入。自らの食生活を豊かにする行為が、地域の環境保全に寄与し、さらに、社会的弱者の就労を助ける。地域のコミュニティ形成の正統なアクターとなる。
- 収入一 国の助成40%、自治体の助成30%、野菜の売り上げ30%

<https://translate.google.co.jp/translate?hl=ja&sl=fr&tl=en&u=http%3A%2F%2Fwww.jardins-cocagne-angers.org%2F> 2017.01.15 アクセス

## ソーシャル・ファームは 社会的包摂を促進する新しい連帯のかたち：

- 人間が尊厳をもって生きていける社会システム
- 地域住民が、共通理念の元に直接参加できる共同体



## New solidarity to promote social inclusion

- \* フランスの連帯経済には魅力的な理念・コンセプトがある。  
事業自体の斬新さと発展力が鍵である。

(参考)

## ソーシャルファーム Social Firm

- ▶ 労働市場から排除されている人々の社会統合のために、雇用創出や就労・就業支援を行う社会的企業。主に障害者を対象としてきたが、元犯罪者や薬物依存者も対象としている。一般就労、福祉就労に続く第三の職場

定義 by Social Firm Europe ( CEFEL ) , 1997

- 労働市場で不利な立場にある人々の雇用を創出するための事業
- 市場志向型の製品・サービスの生産を通じて、社会的使命を果たすビジネス（収入全体の50%以上を商取引より得る必要）
- 従業員の30%以上が労働市場で不利な条件を抱えている人々
- すべての従業員に対し、各人の生産性の如何を問わず、仕事に応じて市場相場同等の適正賃金ないし給料が支払われる。
- 障害のある従業員と障害のない従業員との機会均等が保証され、すべての従業員が同等の権利と義務を有する。

- Definition of Social Firm by CEFEL, 1997 <http://socialfirmseurope.org/social-firms/definition/> 2017.1.15アクセス

## ➤ 連帯経済における中央・地方政府の役割

- 公的支援 — 補助金、事業委託、課税の免除
- その他、啓発、法制度整備、情報交換・相互学習のためのネットワーク作り、経営・ビジネスに関する研修、事業コンサルティング、ビジネス開発支援、投資と投資に関する補助金、企業設立の支援、課税免除、公共資産の提供、公共調達、賃金補助
- 社会的連帯経済は、地域経済や地域政策の発展と結合すべき。その意味で、行政による統治と目的を共有するが、全く異なるパラダイムと方法で行政のパートナーとなる。
- 住民とコミュニティの福利を目指しての官民連携・協働

## ➤ 連帯経済を支える連帯ファイナンス

ex. フランスのNPO法人 “フランス アクティブ”

## 5 まとめ：考察と提言

- 「万引高齢者」の問題性には貧困・孤立・孤独に加え、相対的剥奪感・不満感がある。
- 現代の時代状況に適合しない高「期待値」
- よって、当事者には新たなマインドセットと役割取得、社会的承認ニーズがある。
- そのための施策は、包括的コミュニティ形成・町おこしのパッケージの中で行うのが良い。
- 自治体内の包括的ケアのための諸機関連携の仕組み、連帯経済が有効である。